

第3セクターの今後は！

町長 地域振興に大きく貢献している



問 奥出雲町が出資する第3セクター、その中で株式会社奥出雲振興、奥出雲酒造株式会社、社団法人奥出雲町農業公社、奥出雲町仁多米株式会社、この4社の経営方針と今後3年間の収支計画、雇用計画をお聞かせ願いたい。

答 第3セクターは、本町には全部で7社ございませう。地域振興に大きく貢献をしている実態があり、約370名を超える雇用をつくり出しています。

株式会社奥出雲振興は町の観光の拠点施設である玉峰山荘を中心に町内の観光資源を十分に活用し、おろ

ちルーフ、サイクリングターミナルなどと、連携し合って観光振興の拠点となっています。会社全体としては観光振興を図っています。

奥出雲酒造株式会社の基本方針は、酒蔵奥出雲交流館のイベント強化、道の駅の機能も持っているので、イベントの強化を図りながら、新規顧客を開拓していく、またインターネットによる販売の強化、さらには経費削減もあわせて取り組んでいきます。

奥出雲町農業公社は、町内の農業の発展と地域農業者の経済的・社会的地位の向上を図るということを基本的な目的にしておりますが、各種事業を通じて地域農業及び農家の支援することを基本としてまいります。

今後は、新法人へ移行するということもあり、改めて基本計画を出したいと思っております。

奥出雲仁多米株式会社の基本方針は、島根を代表するブランド米、仁多米としての高い評価もいたしたいであり、「出雲国仁多米こしひかり・栽培暦」に準じて環境に優しい安全・安心な米づくりをさらに普及し、

環境循環型農法の高付加価値化をさらに高いレベルで取り組んでいきます。産地間競争が激化するなか、他産地に比べ環境に優しい、安全・安心ということも従来の食味にプラスしてさらに付加価値をつけていき、他産地との差別化を図ってまいります。

問 第3セクターは設備投資等が非常に有利な形で対応できており、今までもそういう形で町としてもフォローアップをしている。より一層の経営の安定を図り、雇用の確保をしていただくためにキーマンとなる経営者あるいは営業、販売のポートが必要になってくるのではないかと思うが、人材確保のために町内ばかりでなく県内外から広く公募する考えはないか。

答 さらに奥出雲ブランドを売り出していくためにはいろんな人材が必要と思っております。

問 町の特別職についての公募は。

答 副町長の選任につきましては、私の責任において適任者を選任してまいります。

第3セクター(4社)の3カ年の収支見込み

		平成23年度	平成24年度	平成25年度
株式会社 奥出雲振興	売上	6億4,000万円	6億3,000万円	6億0,000円
	収支	+105万円	+120万円	+220万円
奥出雲酒造株式会社	売上	1億4,600万円	1億4,600万円	1億5,000万円
	収支	+2万円	+2万円	+2万円
奥出雲町農業公社(公益)	売上	8,800万円	8,800万円	} 新法人に移行
	収支	+200万円	+200万円	
奥出雲町農業公社(収益)	売上	6,400万円	6,400万円	
	収支	-200万円	-200万円	
奥出雲仁多米株式会社	売上	4億5,000万円	4億5,200万円	4億5,300万円
	収支	+3,300万円	+3,400万円	+3,500万円